

協働通信

地域協働のまちづくり推進貢献者へ
感謝状の贈呈行われる



■前段左より、後藤敬さん、八代直之さん、棚本安男さん、都倉史朗さん
後段左より、清水センター長、小林市長、奈良総務部長

7月27日(水)都留市役所において、「地域協働のまちづくり推進会市長感謝状贈呈式」が開催されました。

贈呈式では、各地域において地域協働のまちづくり推進会会長として多年にわたり力を尽くされた方達に、市長から感謝状が手渡されました。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市上谷2-1-15
都留市役所
新町別館1階
▽開館
月～金(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(46)5236
FAX (46)5237

各者に聞く「協働のまちづくり」とは

現在は、推進会会長としての立場を離れ、それぞれの関わり方で地域に携わる皆さんに、当時を振り返りながら「協働のまちづくり」とはどのようなものであるかについて、各者のお考えを伺いました。

禾生地域・都倉史朗さん



「地方自治の原点である自助(自分の命は自分で守る)、共助(自分達の地域は自分達で守る)、自助・共助でできない部分の公助(行政の力を頼る)を基本理念とし、住民と行政が対等の立場で責任を共

有し、協働でまちづくりを推進していくこと。私は「協働のまちづくり」の趣旨をこのように捉え、在職当時は、阪神淡路大震災の数年後で防災に対する関心が高いこともあり、防災マップの製作や防災アンケートの実施、禾生地域の各自主防災会に統一された会則づくりなど、防災に関することを中心にまちづくりを進めてきた。

このような地域の取り組みは、東日本大震災を契機に、「減災」への取組として全国にも拡がりをみせている。」

谷村地域・棚本安男さん



「各専門分野で活躍している人や知識を有している人、人脈により活動を広げていく人など、各々の持つ力を活かしながらまちづくりの各分野に取り組むことが、谷村地域の「協働のまちづくり」であった。

会長当時を振り返ると、家中川沿いの花の植栽を実施したが、イタズラではじかれてしまったことがあった。それを皆の協力で植栽し直し見守ってきた。現在でも続

いていることは、本当に皆の協力によるものが大きい。

やってできないことはない。絶えずやり続けることによって成果が上がり、協働のまちづくりも浸透していく。」

宝地域・八代直之さん



「無縁社会という言葉がある。隣にいても誰かわからない、無関心。「協働のまちづくり」は、皆がよっちゃばって話し合い、一緒に汗を流すことによって、地域の新しい活動がはじまり、コミュニティが作られていく。

宝の推進会が実施している文化祭「七里まつり」は今年で4年目を迎えるが、あの人がこんな趣味、特技を持っていたのかと、毎年新しい発見がある。また、保育園、

小学校、都留二中、その他地域の力を結集することにより、より一段と縦横の関係が深まると思う。」

三吉地域・後藤敬さん



「地域の環境保全活動や放課後子ども教室への協力事業などを通して、地域の課題を話し合い、みんなが協力しながら住みよく楽しい地域づくりを目指してきた。そこには、多くの感動があり、学びがあり、行政任せの意識から「自分達の地域のこと」といった意識が育まれた。

市民と行政が同じ目線からまちづくりの有りようを考え、エネルギーを出し合う「協働のまちづくり」の精神は、新しいコミュニティの形成に有効な刺激を与えつつあると実感している。」

地域のお知らせ!

9月22日(木) 谷村地域

「夢実現ひろば

大学との交流・秋の交通安全教室」

時間 13時～16時

場所 YLO集合

9月25日(日) 盛里地域

「高齢者ふれあいの集い」

時間 11時～15時

場所 旭小学校体育館

9月24日(土) 開地地域

「防災訓練講演会ふれあい福祉集会」

時間 11時～15時

場所 附属小学校